

2019年度 事業報告書

2019年4月1日より2020年3月31日まで

第1 公益目的事業

定款第4条に掲げる事業は、次の計画により行った。

公1 がんに関する学術研究集会の定期開催、ならびに海外学術調査研究事業

① 国際がんシンポジウム事業(第38回)

2019年7月11日～13の3日間、国内外から23名の研究者を招き、ロイトン札幌にて国際がんシンポジウムを開催した。テーマは「Integrated Cancer Analysis: Science creates advanced diagnosis and therapies (統合がん解析:サイエンスが創り出す最新の診断・治療)」、代表世話人は北海道大学大学院医学研究院腫瘍病理学教室教授 田中伸哉氏で、約167名の参加者を得て盛会理に終了した。

② 冬季がんセミナー事業(第34回)

2020年1月25日(土)、道内外から8名のがん研究者を招き、ロイトン札幌にて臨床を中心としたがんセミナーを開催した。テーマは「いまがんを考える 2020ーがん治療の最前線・新たな展開ー」、代表世話人は北海道大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室教授 本間明宏氏で、191名の参加者を得て盛会理に終了した(大鵬薬品工業(株)との共催)。

③ 市民がつくる春のがんセミナー事業

2020年3月28日(土)、4月4日(土)の2日間にわたり、予定していた市民がつくる春のがんセミナーは新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

なお、2019年4月6日(土)に行われたセミナーは、西原広史氏(慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット特任教授)、佐々木治一郎氏(北里大学病院集学的がん診療センターセンター長)の2名を演者に招き、道内から106名の参加があり盛会裏に終了した。

④ 四季講演会事業

本年度は岐阜大学名誉教授の佐治重豊先生、国立がん研究センター名誉総長の杉村隆先生をお招きして講演会を開催予定ではあったが、両者とも日程等の調整がつかず実現しなかった。

⑤ 海外における調査研究事業

海外との情報交流等を行った。

公2 がん予防・啓発、ならびにがん相談事業

⑥ がん啓発・予防事業

小学生を対象にした健康教育のDVDを完成させ、札幌市内の小学校へ配布するとともにホームページからもダウンロードできるようにした。また、全国がん教育勉強会を開催し、がん教育について医療者と教育者が交流の場を設けた。その他、市民団体へ激励金を渡し当財団でカバー出来ない分野の活動の支援を行った。また、がん患者及び家族への相談を事務局にて行った。

⑦ 広報関連事業

会報を年2回作成し、関係機関へ配布した。その他、ホームページの更新などを行い、財団活動を広く周知した。

公3 医学・医療・福祉など関係の学会研究の助成事業

⑧ 学会助成事業

第26回日本がん予防学会(会長:小林正伸氏)への助成を行った。